

## ⑫公開特許公報(A)

平2-60552

⑤Int.Cl.<sup>5</sup>A 23 G 1/20  
3/28

識別記号

府内整理番号

⑬公開 平成2年(1990)3月1日

8114-4B  
8114-4B

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑭発明の名称 食品印刷方法

⑮特 願 昭63-212623

⑯出 願 昭63(1988)8月29日

⑰発明者 久米正志 神奈川県横浜市旭区東希望ガ丘194-15

⑯出願人 東京測範株式会社 神奈川県座間市相武台2丁目215番地

## 明細書

様を印刷する方法に関する。

(従来の技術)

チョコレート等の食品の表面に模様を現出させる方法として従来より該模様の相補的金型を作製し、該金型内に溶融チョコレートを注入し、これを冷却、固定させた後取出す方法が知られている(例えば特開昭58-141748号、実開昭58-132988号公報)。あるいはまた、合成樹脂シート等の表面に多色のインクによりスクリーン方式によって多色模様を施した後、該シート上に所望形状の金型を載置し、次いで該型内の各印刷模様上に溶融チョコレートを流し込み、このチョコレートが硬化された後、該チョコレートを転写シート及び金型より離脱せしめ、このようにして該チョコレート表面に、多色模様を転写するという技術も知られている(特開昭50-155674号公報)。

(発明が解決しようとする課題)

上記従来公知の技術は概めて量産的で大量生産には適した方法である反面、少量生産には適

## 1. 発明の名称

食品印刷方法

## 2. 特許請求の範囲

1. 食品の表面に無毒性の熱転写材を塗布し、該塗布面に加熱粘着性の薄膜を重ね、該薄膜の上方より模様を描くように光を照射し、その光照射部直下の熱転写材を前記加熱粘着性の薄膜側に転写せしめ、次いで前記薄膜を剥し、食品の表面に残留した熱転写材と剥離された熱転写材のあつた部分とで食品の表面に模様を現出させることを特徴とする食品印刷方法。

2. 請求項1記載の方法において、食品の表面に無毒性の熱転写材を塗布する前に、該表面に無毒性の塗料をコーティング塗布することを特徴とする食品印刷方法。

## 3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、チョコレート等の食品の表面に模

さない。

最近のように、消費者が個性化や差別化を求めるようになってくると、同じ模様をもつチョコレート等を多量に販売することは困難であることから、多種の模様を即座に現出できるようにして同一模様のものは少量づつ販売したいという要望が高くなってきた。

また、前記の模様を刻設した金型を用いる方法では、金型の凹凸のみで模様を現出させるものであるから、食品の色と異なる色で模様を現出させることは不可能であり、また顔容のような繊細な模様を鮮明に現出させることも困難である。

また、前記の多色模様付きのシートを用いて行なう方法にあっては、最終的には多色模様付きのチョコレートが得られるけれども、必ず溶融チョコレートを型に流し込み、固化を待つという時間が必要である。したがって多量生産には適するが、例えば固形のチョコレート等に隨意に模様を現出させることはできない。

絵、図柄、文字、記号、イラスト、人物もしくは動物の顔容もしくは体等の形象等を含むものとする。

また、塗布とは刷毛等による塗布のほか、噴霧による塗布も含むものとする。

#### (実施例)

以下請求項1記載の発明の一実施例を第1図(1)、(2)に基づいて説明する。

先づ第1図(1)に示すように、食品、本実施例ではチョコレート1の表面1aに食性インク等の無毒性の熱転写材3を一様に塗布した後、該塗布面上に加熱粘着性の薄膜2を重ねる。

次いで該薄膜2の上方から、模様を描くようにレーザ光5を照射する(本例においては模様部を照射するが、逆に模様部以外の部分を照射する場合もある)。

すると、加熱粘着性の薄膜2のうち、レーザ光5により照射された部分のみが熱エネルギーを受けて粘着性を生じるとともにその部分直下の熱転写材3にもその熱エネルギーが伝わるため、

したがって、いかなる方法で、短時間で固形のチョコレート等に模様をつけることができるかという課題が生じていたのである。

#### (課題を解決するための手段)

本発明は上記のような要望に応えるため、また上記のような課題を解決するためになされたもので、請求項1の発明は、食品の表面に無毒性の熱転写材を塗布し、該塗布面に加熱粘着性の薄膜を重ね、該薄膜の上方より模様を描くように光を照射し、その光照射部直下の熱転写材を前記加熱粘着性の薄膜側に転写せしめ、次いで前記薄膜を剥し、食品の表面に残留した熱転写材と剥離された熱転写材のあつた部分とで食品の表面に模様を現出させることを特徴とするものである。

また、請求項2の発明は請求項1記載の方法において、食品の表面に無毒性の熱転写材を塗布する前に、該表面に無毒性の塗料をコーティング塗布することを特徴とするものである。

なお、本明細書において、模様とは、例えば

その部分の熱転写材3のみが前記薄膜2の被転写面(下面)4に転写される。他方、レーザ光により照射されない部分の薄膜2及びその直下の熱転写材3には粘着性が生じないため、その部分直下の熱転写材3は依然としてチョコレート1の表面1a上に塗布されたままの状態で残る。

そこで同図(2)に示すように薄膜2を剥すと、薄膜2に転写された熱転写材部分6が薄膜2と一緒に剥れるため、表面1a上には、例えはチョコレートの地色と同一な模様が現われる。

次に請求項2記載の発明の一実施例を、第2図(1)、(2)に基づいて説明する。

先づ第2図(1)に示すように、食品例えはチョコレート1の表面1aに無毒性の塗料8を一様にコーティング塗布した後、そのコーティング層8上に食性インク等の熱転写材3を一様に塗布する。そして前述の実施例と同様に、熱転写材塗布面上に加熱粘着性の薄膜2を重ね、次いで該薄膜2の上方から模様を描くようにレーザ

光5を照射する（本例においても模様部を照射するが、逆に模様部以外の部分を照射する場合もある）。

するとレーザ光によって照射された部分直下にある熱転写材のみが加熱粘着性の薄膜2の被転写面（下面）4に転写され、照射されない部分直下の熱転写材は依然としてコーティング層8上に塗布されたままの状態で残る。

そこで同図向に示すように薄膜2を剥ると、薄膜2に転写された熱転写材部分6が薄膜2と一緒に剥れるため、チョコレートの表面上にはコーティング層8の色と熱転写材3の色との違いにより模様7が得られる。

本実施例の場合、コーティング層8としては、チョコレート1及び常温における熱転写材3に対しても接着性があり、加熱された熱転写材3とは剥離し易い無毒性の塗料を選べば良い。

上記実施例においては、レーザ光で模様部又は模様部以外の部分を照射するようにしたが、例えば模様部又は模様部以外の部分をくり抜い

て成る遮蔽板を予め作っておき、その遮蔽板の上方からハロゲンランプ等を用いて一齐に照射することもできる。

また、食性インク等の熱転写材は所望の色のものが選べる。

#### （発明の効果）

以上述べたように、請求項1の発明にあっては、食品の表面に無毒性の熱転写材を塗布し、該塗布面に加熱粘着性の薄膜を重ね、該薄膜の上方より模様を描くように光を照射するだけで、該光照射部直下の熱転写材を前記薄膜側に転写させることができ、極めて簡単な方法で、所望の美麗な色模様が得られる。

また、請求項2の発明にあっては、無毒性の熱転写材を塗布する前に、無毒性の塗料をコーティング塗布するため、上記効果に加えて、模様部の食品表面に対する接着性及び模様部以外の部分のコーティング層からの剥離性が向上し、さらに鮮明な模様を施すことができるという効果がある。

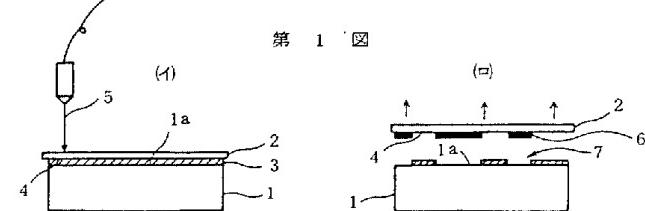
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は請求項1記載の発明の一実施例の側面図で、同図(1)は食品の表面に熱転写材を塗布し、その塗布面上に薄膜を重ね、上方からレーザ光を照射している所を示し、同図(2)は照射が完了して薄膜を剥した所を示す。第2図(1)、(2)はそれぞれ請求項2記載の発明の一実施例を、第1図(1)、(2)と同様な態様で示した側面図である。

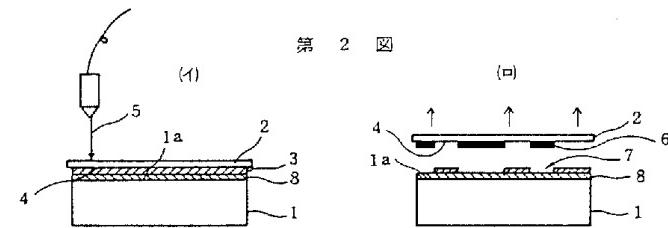
- 1 … チョコレート（食品）、1a … 表面、
- 2 … 薄膜、3 … 热転写材（食性インク）、
- 4 … 被転写面（下面）、5 … レーザ光、
- 6 … 薄膜側に転写された熱転写材部分、
- 7 … 模様、8 … コーティング層（塗料）

特許出願人 東京測範株式会社

代表者 高橋金治



第1図



第2図

- 1 … 食品（チョコレート）
- 1a … 表面
- 2 … 加熱粘着性の薄膜
- 3 … 热転写材（食性インク）
- 4 … 被転写面
- 5 … レーザ光
- 6 … 薄膜に転写された热転写材部分
- 7 … 模様
- 8 … コーティング層（塗料）

**PAT-NO:** JP402060552A  
**DOCUMENT-IDENTIFIER:** JP 02060552 A  
**TITLE:** FOOD PRINTING METHOD  
**PUBN-DATE:** March 1, 1990

**INVENTOR-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
KUME, MASASHI	

**ASSIGNEE-INFORMATION:**

<b>NAME</b>	<b>COUNTRY</b>
TOKYO SOKUHAN CO LTD	N/A

**APPL-NO:** JP63212623

**APPL-DATE:** August 29, 1988

**INT-CL (IPC):** A23G001/20 , A23G003/28

**US-CL-CURRENT:** 426/104

**ABSTRACT:**

**PURPOSE:** To easily print a prescribed beautiful and clear color pattern on a food surface by transferring a heat-transfer material to a heat-adhesive thin film by light irradiation.

**CONSTITUTION:** The surface 1a of a food 1 such as chocolate is optionally coated with a non-toxic coating and then coated with a non-toxic heat-transfer material 3 such as edible ink. A heat-

adhesive thin film 2 is placed on the coated surface. The thin film 2 is scanned e.g., with a laser light 5 from above in the form of a pattern to transfer the heat-transfer material 3 of the scanned part to the transferring face 4 of the thin film 2 and the heat-transferred part 6 is peeled off from the food together with the thin film 2.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio